

平成 22 年度事業報告書

特定非営利活動法人の名称
自然、生活共生会

1 事業の成果

総合学習支援

「森と海は一つ」このテーマに基づき、紙芝居、ドングリ拾い、植林活動を通して、子供たちに、森の役割を啓蒙してるが、児童の話、質問から山の役割が浸透していることを実感しています。先生方も意外と認識が浅く、児童以上に先生方がひそかに学ばれている状態があります。ある先生は「今日まで知っているようで実は知らなかった。非常に分かりやすく、大人にも十分通用しますね」と言われました。

学校安全支援者として、児童と毎日接触しており、子供たちに山にちなんだ話題を持ちかけてきます。針葉樹と広葉樹の区別はもちろん、木々の葉っぱの名前も以前より多く覚えている。

山の自然環境に対し、子供たちに多面的にアプローチをかけたためか、理解度がたいへん増したと感じます。この成果は今後の活動の励みと成ります。

山林整備事業

① 間伐、今年度NPOが10haの間伐作業の前段取り（所有者探し、間伐申請、境界の確認、測量立会）を手掛けた。

22年度で対象林500haの間伐はほぼ終了、来年から利用間伐に入ってくる。

九州、上川ダム建設の推進派（国土交通省）と反対住民の共同検証によれば、雨が降って一旦水として山が放出する水量は、間伐しない山とされた山からの比較は3:1、即ち

間伐林は1/3保水力が向上すると報告されております。更に岐阜県森林研究所の報告では間伐され、シダが十分繁殖した山と、手入れ出来てない山肌が露出した人工林の表土の流出は1:50 即ち50倍の効果が有ります。

地元住民の中には間伐効果を認め「ここしばらく少々の雨が降っても洪水が発生しないな」。

川底の石を流すような洪水が減ったためか、22年7月、寺尾の奥山の各谷にはホテルが大発生しました。関係専門家の人達はまさしく間伐効果が有ったといわれました。（岐阜県森林研究所の部長、県森連の専務理事）

26年度からは利用間伐制度に入ってきます。今日までの実績が資料として存在するため、従来よりは容易に進められる部分が多い。

- ② 針広混交林造り、着実に広葉樹が増えてきてます。子供のみならず、大人にも環境を考えるよき教材現場になりつつあります。この山には棚田が有り、その棚田を守るように「石積猪垣」が有り、郷土歴史研究家の調査研究対象に成りました。

又日本熊森協会の広葉樹の枯れ木対策の実験場となり6月19日第一回の実験を行います。

針広混交林造り、この事業を行いながら、広く森林を守ろうとする団体を受け入れ、支援してゆくことが出来るようになりました。

ホタルの保護育成

手造りビオトープは定期的に手入れを行い、安定的にホタルが出るようになった。

今年度の特出事項として、奥山の各谷川にホタルが大発生したことです。前述のごとく間伐効果が相当効果が有ったと思われます。

地域振興

- ① 音楽&ホタル観賞会

ホタルの保護育成活動の一環として鑑賞会を企画。第三回の催しとして津軽三味線と二胡を演奏。帰省客を狙ったイベントでしたが、遠く愛知県や三重県からの見学者も多数訪れ、盛大に実施できました。推定200~300名参加

- ② 山林遊歩道整備と第3回「岩めぐり登山大会」を開催

標高差60mの登り、と下り263mの登山道を自前で造成、稜線歩道を含め約3kmを登山散策道として整備。第2回の里山「岩めぐり登山 & 棚田、石積猪垣めぐり」を実施。老弱男女60名の参加で無事終了。岐阜県建築士会の助成金を受けている関係上その家族や、応募者や、子供たち、老人たちと一緒に遊んだ日であった。特に老人たちの参加は以外であり、3kmの踏破に皆自信を持たれた方が多かった。

- ③ 棚田と石積猪垣の保存活動

武芸川町郷土歴史研究会の活動を支援するため、岐阜県建築士会から助成金を受け修繕、調査、見学会を行い、地域住民に見放された遺跡を復活し、文化的価値ある地域づくりを狙っている。この活動が認められ、今年度も同会から助成金を受けることとなった。

2 事業の実施に関わる事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従 事 者 の 人 数	受 益 対 象 の 範 囲 及 び 人 数	支出額 (千 円)
ホタルなど 希少動物の 保護育成	ホタル公園の管理 (餌やり、水温調査、草刈、カワニナ保護)	毎日曜日	寺尾	6		5
	カワニナ養殖場の管理 (餌やり、草刈等)	毎日曜日	寺尾	7		12
	ホタルの飼育 (産卵から放流まで)	6月～4月	寺尾	3		
	蛍小屋 修繕		寺尾			50
森林事業	間伐 (所有者確認、境界確定、 測量支援)					10
	1 谷口尾花		寺尾	2	4	
	2 谷口寸洞		寺尾	2	3	
	広葉樹の植林；手入れ	毎週土日	寺尾	2		
地域内外環 境団体との 交流(寺尾小 学校総合学 習支援)	紙芝居による環境出前講座	6/30	寺尾小	3	36	
	山に実のなる木を植える ドングリひろい ドングリ苗植え	3/2	寺尾 寺小農園	2 4	40 40	10
	野菜作り支援	5/ 数日	寺尾小農園	4	40	9
地域振興 文化の発展	<u>文化</u> 棚田 石積しし垣保存活動					

(武芸川町郷土歴史研究会支援) 雑木伐採、草刈り	7/25~27	寺尾	2	106
	修復、	寺尾	2	
	調査	寺尾	2	
(武芸川町郷土歴史研究会支援)	通年			
<u>山林関係</u>				
山林遊歩道のメンテナンス				
岩場周辺の整備	通年	寺尾	3	23
コースの整備	9~12月		16	60
山林遊歩道岩めぐり大会	10/29		3	50
(株)マルエイ社員エコ体験	12/6		12	26
	4/24	寺尾寸洞	3	
<u>蛭関係</u>				
関ホテルの学校を受け入れ				200
音楽&ホテル観賞会の実施				200
音楽&ホテル観賞会の実施	7/10	寺尾公民館	20	38
関環境フェア 海づくり大会	7/10	寺尾蛭公園	20	18
に展示参加	6/13	関本町	6	
<u>広報活動</u>				
ぎふFM78.5 トーク番組に出演	8/9	岐阜市柳瀬	2	

平成22年度特定非営利活動に係る会計財産目録

平成23年3月31日現在

特定非営利活動法人 自然、生活共生会

資 産 の 部		金 額	摘 要
流動資産	預 金	189,503	
	有価証券		
	未 収 金		
	立 替 金		
	仮 払 金		
	貸 付 金		
	流動資産計	189,503	
固定資産	建 物		
	土 地		
	構築物	220,150	別紙台帳
	特定預金		
	器具備品運搬具		
	固定資産計	220,150	
資 産 合 計		409,653	
負 債 の 部		金 額	摘 要
流動負債	短期運営資金借入金		
	未 払 金		
	預 り 金		
	前 受 金		
	流動負債計	0	
固定負債	長期設備資金借入金		
	各種引当金		
	固定負債計	0	
負 債 合 計		0	
差 引 純 資 産		409,653	

固定資産管理台帳

自 平成22年 4月 1日
自 平成23年 3月31日

NPO法人 自然・生活共生会

資産の種類及び名称	取得年月日	数量	償却	耐用	償却	償却	償却	取得価額		期首帳簿価格	当期減価償却額		減価償却累計額	期末帳簿価額		摘要		
								うち補助金額	うち補助金額		うち補助金額	うち補助金額						
その他の固定資産								12,357,000	0	357,000	0	23,800	0	136,850	0	220,150	0	養殖プール
構築物	H17.7.1	1	定額	17														
計								357,000	0	357,000	0	23,800	0	136,850	0	220,150	0	

平成22年度特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

平成23年3月31日現在

特定非営利活動法人の名称 自然、生活共生会

		資産の部		負債の部		増減	前年度末	前年度末	増減
		当年度末	前年度末	当年度末	前年度末				
流動資産		189,503	171,889	17,614	流動負債		0	0	0
	現金預金	189,503	171,889	17,614		未払金		0	0
	有価証券			0		預り金		0	0
	未収金			0		仮受金		0	0
	立替金			0		短期借入金		0	0
	仮払金			0					
	短期貸付金			0					
固定資産		220,150	243,950	-23,800	固定負債		0	0	0
基本財産		0	0	0		長期資金借入金			0
	建物			0					
	土地			0		負債の部合計	0	0	0
	特定預金			0					
その他の固定資産		220,150	243,950	-23,800	純資産の部				
	建物			0	基本金		0	0	0
	構築物	220,150	243,950	-23,800	基本金				
	車両運搬具			0	積立金				
	器具・備品			0	補助等特別積立		220,150	243,950	-23,800
	特定積立預金			0	次期繰越活動収支差額		220,150	243,950	-23,800
					次期繰越収支差額		189,503	171,889	17,614
					うち当期収支差額		189,503	171,889	17,614
							43,079	-15,154	58,233
					純資産の部合計		409,653	415,839	-6,186
資産の部合計		409,653	415,839	-6,186	負債及び純資産の部合計		409,653	415,839	-6,186

注記: 原価償却累計額 136,850円

平成22年度 特定非営利活動に係る事業会計収支計算書
(平成22年4月1日～平成23年3月31日まで)

特定非営利活動法人 自然、生活共生会

単位:円

科 目	金 額		
I 収入の部			
1 会費収入			
会費収入	75,000	75,000	
2 事業費収入			
寄付金	45,000		
岐阜県建築士会	200,000		
岐阜県環境管理技術センター	60,220		
NPOハーモニーアイズ	20,000		
事業(登山会費)	3,900		
利息	17		
		329,137	
当期収入合計 (A)		404,137	
前期繰越収支差額		146,424	
収入合計(B)			550,561
II 支出の部			
1 事業費支出			
ホテル保護育成事業	45,329		
小学校総合学習支援事業	26,585		
地域振興事業(各種イベント:山道整備)	63,432		
(棚田、石積猪垣保存活動)	166,100		
	59,612		
		361,058	
2 管理費			
文具	10,990		
交通 通信	11,622		
広報	6,030		
会議	29,470		
保険	1,500		
		59,612	
当期支出合計 (C)			420,670
当期収支差額(A-C)			-16,533
次期繰越収支差額(B-C)			129,891

<監査報告> 22年度事業ならびに経理関係を監査したところ、適切である事を認め報告します。

平成23年 月 日

監事

印

監事

印